

「岐阜市中央卸売市場再整備事業基本計画（案）」に対するご意見とそれに対する岐阜市の考え方

意見募集期間 令和3年6月1日～6月30日
 意見提出数 5通（意見提出フォーム：5通）
 意見項目数 6件

項目	該当箇所	いただいたご意見の概要	岐阜市の考え方	変更の有無
A 市場の活性化について				
1	ー	幅広い世代（特に若者や家族）から支持されるような市場にしてほしい。 他県には、新鮮な魚介類の購入や食事できるような施設があり、施設内には市場はもちろん海鮮料理がメインのフードコートやお土産コーナー、買った魚介類を BBQ できる場が設けられていた。 海に面していない岐阜県でも新鮮な魚介類の美味しさをその場で、様々な形で味わうことができる場を設けてみるのも良いのではないかと。岐阜市場は魚介類だけでなく野菜や青果もあると聞く。それらを様々な形で提供してはどうか。	令和2年の卸売市場法令の改正により、市場での取引のルールが緩和され、一般の方も市場で商品を購入いただくことが可能になりました。今後、創出が見込まれる余剰スペースの活用も含め、市場の活性化について検討していきます。	無
2	ー	市民の交流の場として整備することは今後の運営に必要である。 特に、場外の市場関係業者と連携して、市場と一体となった商店街（市場周辺一体）づくりを進めることが必要である。 現在は、場外に店舗はあるものの市民向けとは言い難く、市場関係者中心の街となっていると感じる。もっと市民に開かれた街とすることで新しい商店街を目指してほしい。	現在はコロナ禍により、一般開放や見学会等のイベントを中止しておりますが、地域社会との接点を設け、市場の情報を発信していきます。	無

項目	該当箇所	いただいたご意見の概要	岐阜市の考え方	変更の有無
B 地域の安全性の確保について				
3	一	市場周辺は、多くの市場関係者の車で混雑しているため、特に朝はそこを通学する中学生（加納中）が非常に危険である。 市場はコンクリートブロック塀に囲まれているため、閉鎖的であり視界も悪い。もっと開かれた市場を希望する。そして、周辺の道路も拡張や歩道を設けるなど整備してほしい。	交通量の多い市場の出入口付近などを中心に、見通しを良くするなど通行者に配慮した整備を進めてまいります。また、場内のレイアウト、搬出入経路の整理等により周辺道路の混雑緩和に貢献できるよう再整備を進めていきます。	無
4	2 4	市場の浸水対策に留意すべきなのはもちろんであるが、近年の短時間に降る大雨による内水氾濫への備え並びに下流域の水害軽減の観点からも、市場には雨水の貯留ならびに浸透の機能を有する施設を整備してほしい。	当市場は指定緊急避難場所（災害発生時、身を守るため、一時的に避難する場所）になっております。 ご指摘の短時間に降る大雨による内水氾濫、下流域の水害軽減等への対策については、関係法令等に則して適切に対応していきます。	無

項目	該当箇所	いただいたご意見の概要	岐阜市の考え方	変更の有無
C 再整備の手法について				
5	2 6	卸売市場の機能は適正規模にして流通関連事業も含めた民間企業の経営ノウハウを導入されることを期待する。 市場の運営について、民間企業へ市場に関係する施設とすることを条件とした事業用借地権が可能になれば財政負担も少なくなると推察される。 市場のメンテナンス管理を民間企業へ条件付き契約をして任せることで維持管理支出が減少し、賃貸収入も得られる。民間企業が施設を建設し、中央市場部分と自社利用部分と他社への賃貸部分を維持管理運用する。 岐阜市にとっては老朽化施設の建て替え費用が減少し、市場を実態に合った大きさに変更できること、周辺も含めた開発に関係省庁の協力を得られやすいことが挙げられる。	現在、再整備について PPP/PFI（公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法）導入可能性調査を行っており、民間企業の能力の活用等を検討しているところです。 人口が将来的に減少していく社会的な背景を受け、適正な規模及び機能を備えた市場とする必要があります。施設規模及び配置の見直し等により、創出が見込まれる余剰スペースを活用することや、設計、施工、維持管理及び運営において PPP/PFI の導入を検討することなどにより財政負担の軽減を図っていきます。	無
6	2 6	卸売市場の整備費用は高額になることが想定されるため、余剰地の活用を行う事業者が卸売市場の整備を一体的に行う方式を採用することで、整備費用を圧縮するべきである。 民間活力手法として、卸売市場整備は P F I で行い、余剰地は借地するスキームがよいと考える。 なお、余剰地の活用方法として、場内関係者が求める市場流通に関係がある施設が望ましいが、周辺の交通環境、敷地面積の大きさ等から、商業テナント誘致はマーケット的に厳しいと考える。 交通環境の大幅な改善や周辺敷地を含めた立地環境の改善策を検討し、余剰地の最適な活用方法を検討する必要があると考える。 いずれにしても、市場関係者の意見に偏ることなく、広く市民の生活に貢献できるような施設を考えていくべきである。	現在、再整備について PPP/PFI 導入可能性調査を行っており、市場自体の再整備とあわせて、余剰スペースが生じた場合の活用方法について、民間企業へヒアリングし情報収集しております。 多角的な視点から地域に貢献できるような市場となるよう再整備を進めていきます。	無